



磨ごう！子育てを応援する祖父母力

最近よく「イクジイ」「ソフリエ」という言葉を耳にしませんか？これらは自分の孫のみでなく地域の子育てに参加する祖父世代の方や、保育で教室で抱っこや寝かしつけ等を学んだ祖父をさす名称です。このように世間では今、祖母のみでなく、祖父にも「祖父力」をつけてもらい、子育てに積極的に参加してもらおう、という動きが盛んです。

これらの背景には核家族化や情報化が深く関係しています。身近に頼る人のいない共働き世帯や、夫や家族の協力が得られず、近所付き合いもない中で孤育て、溢れる育児情報に翻弄され更に不安になるような図式等々：あげればきりがありません。

子どもは人と人との温かい交流の中で、ゆったりと安心して育てたいものですが、実際の子育ては、緊張の連続で余裕がありません。だからこそ、今、祖父世代のみなさんの知恵や経験、助けが必要とされているのです。

ただ、中には「自分が子育てをしてきた頃ははるか昔で覚えてないよ」という方もみえるでしょうし、「その頃は必死で働いてきたから子育てどころではなかったなあ」という方もみえるかもしれません。また、祖父の皆さんが子育てをした時代と今とは、環境だけでなく子育ての常識と環境も大きく変わっていることも一つや二つではありません。

しんしろ助産所では祖父世代と親世代の考え方の溝を少しでも埋め

るお手伝いができるばと「みんなで子育て孫育て」という教室を開いています。さまざま視点から今の生活にあった子育て方法を一緒に考えていきませんか。

「みんなで子育て・孫育て」の様子



もうじき生まれるお孫さんのために おむつ交換の方法を真剣に聞いてみえます

最近の子育てグッズの紹介



みんなで子育て・孫育て 一緒に子育てについて学習しませんか？

第1回：「世代間の溝を埋めよう」

*各世代の考え方の違いやうまくやっていくコツ、最近の育児方法や育児用品の紹介などをおこないます。

第2回：「基本～ちょっと高度な子育て・孫育て」

*基本的な世話の仕方、家庭内の事故防止、病気に対する対応を学びます。

★祖父母世代・子育て世代のご家族はもちろん、子育てに関心のある方ならどなたでもご参加いただけます（お子さん連れでも参加可能です）。

★2回シリーズですが、1回のみのご参加も可能です（どちらも2時間程度です）。

★開催は不定期です。しんしろ助産所へお電話でお問い合わせください。また、子ども園メールおよび助産所ブログで随時お知らせしています。

お問い合わせは下記へ

電話番号：0536-32-1050

E-mail：s-josanjo@tees.jp

ブログ：しんしろ助産所だより

http://shinshirojosanjo.dosugoi.net/



子ども園配信メール：登録・配信制です

http://www.city.shinshiro.lg.jp/mob/



孫育て Q&A



Q. 昔はうつぶせ寝が良いって言われてたけど・・・

A. うつぶせ寝が推奨されたのは過去の話です

昭和の終わりから平成元年にかけて、日本ではうつぶせ寝が流行しました。しかしそれに伴い、赤ちゃんの窒息死の報告が増えました。現在は「医学上の理由で必要な時以外は赤ちゃんの顔が見えるあおむけに寝かせましょう。」というように、あおむけ寝を推進しています。

Q. 3ヵ月になるのですが、果汁やスープを飲ませなくていいの？

A. 離乳食準備のための果汁やスープは不要になりました

生後5～6ヵ月頃より前にその準備としてこれらのものを与えることは不要です。この頃の赤ちゃんには母乳やミルクに含まれるたんぱく質・脂質・ビタミン・ミネラルが必要ですが他の水分でお腹を膨らましてしまうと必要な栄養素が十分に摂れなくなってしまいます

Q. 沐浴後には湯ざましを飲ませた方がいいと思うのだけど・・・

A. いつも通りの母乳やミルクで十分です

湯あがり後の水分補給は汗をよくかくようになってから大丈夫です。ユニセフ・WHOでも「医学的に必要でない限り、新生児（沐浴を行う1ヵ月頃までの赤ちゃん）には母乳以外の栄養や水分を与えないようにしましょう。」と述べています。

Q. 私の箸で食べさせると怒られます。年寄りには汚いと思っているのかしら・・・

A. 虫歯菌が子どもにうつらないよう、スプーンやお箸の共用を避けるようになりました

一昔前は愛情表現として、親が噛み砕いたものを食べさせていたため、祖父母にとっては注意を受けるのはショックなことだと思います。

もともと赤ちゃんの口には虫歯菌は存在しません。しかし、箸やスプーンの共用で赤ちゃんに虫歯菌がうつってしまいます。だから親はできるだけ共用をさけないのですね。

「むかしは常識だと思っていたことが今では通用しないなら、もう自分たちの出る幕はない・・・」なんて思わないでくださいね。おじいちゃん・おばあちゃんは、子どものありのままを受け入れられる余裕があります。子どもたちにはそんな存在が必要なのです。また、特別なことをしなくても、「子どもを可愛がってくれること」「いつも笑顔で接してくれること」、それだけで母親の育児疲れを吹き飛ばしてくれます。さあ、子育ての現場に今こそ祖父母パワーを！ 新しい子育てを学びつつ、経験を生かしたサポートが期待されています。